SHINCLUB 279

(株)辰　東京都渋谷区渋谷3-8-10　JS渋谷ビル5F　tel/03-3486-1570　fax/03-3486-1450

「CASA 世田谷」　撮影：624PHOTO ／村田雄彦

今月のトーク/monthly talk

コロナの末に

写真は、昨年３月に竣工いたしました「CASA 世田谷」です。

新型コロナウィルスが世界的猛威を振い始めるおよそ１年半前の2017 年秋ごろ。国内のみならず海外に支店を構え、世界的にも活躍される商業施設の企画・設計をおこなう、株式会社アルテリア様に「日本で所有している土地に、家族３世代が優雅に過ごせる建物を建てたい」というご相談がありました。建て主様のご要望を叶えるため、同じく海外での業務経験が豊富な株式会社石原山口計画研究所様とタッグを組み、計画がスタートしました。

「もともと計画地には、1000 ㎡を超える海外の有名建築家が設計した建物がありました。当初はその建物をリノベーションする計画でしたが、社交場として使用するための特殊な構造・間取りをしていたため、建て主様のご要望を満たすにはリノベーションでは難しかったんです。法規上のことも考慮し、結果建替えを提案させていただきました」と株式会社アルテリアの羽田康人氏。

建て主様の「東京 2020 オリンピックをこの地で迎えたい」という願いもあり、工事期間約１年半というタイトなスケジュールのなか設計がスタートしたため、施工会社選びには大変苦労したそうです。

「内装設計はアルテリアさん、建築設計は石原山口計画研究所というように分担して急ピッチで設計に取り掛かりましたが、設計図が完成してから施工会社に見積をとったのでは、工期に間に合いませんでした。多くの会社にご相談させていただきましたが、1000 ㎡を超える建物計画なのに設計図もできていない、大体の予算、工期がタイト、建て主様が外国籍、という不確定要素が多い状況で受けてくれる施工会社ってやはりいないんですよね。困り果てていたとき、辰さんだけが受けてくださったんです。心の底から感謝しました」と語るのは株式会社石原山口計画研究所の菅谷肇氏。

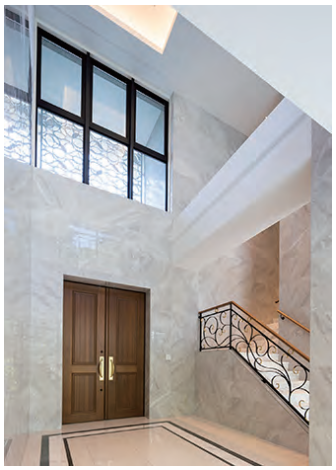
役者が揃い、ようやく着工を迎えた 2019 年春。新型コロナウィルスが世界的に感染拡大。建て主様の来日はおろか、物流もストップし、計画現場も大きな打撃を受けました。

「工事期間中の設計変更や仕様変更の影響もありましたが、とにかく材料が入ってこないことで現場はストップ。結局東京 2020 オリンピックも延期になり、建て主様も来日できずで、ご要望を叶えてあげることはできなかったのですが、竣工から１年経った今年の GW に初めて建て主様が見に来られて、その仕上がりに大変ご満足いただけました。コロナウィルスの影響で６年越しの壮大なプロジェクトになってしまいましたが、最後に建て主様の満足そうな笑みを見られて感無量でした。本計画に関わってくださった全ての人々にお礼を言いたいです」（羽田氏・菅谷氏）
コロナに翻弄されたドラマチックな現場でしたが、素敵なエンディングを迎えました。

CASA世田谷

建物夕景

エントランスからは空が抜ける


吹抜けの玄関ホール

鉄板焼きスペースを備えたダイニング

リビング。奥には暖炉がある

ホテルグレードの一貫性

世界各国で多くの建築物に親しみのある建て主様のため、磨かれたその独特な感性とこだわりに応えられるよう、「一貫性」を意識して計画をおこなった。

計画地がある世田谷区の一部エリアは、景観条例などの規制が厳しい地区であるうえ、土地は周辺で１番高い高台に位置していた。南側は神社、東側は美術館、北側は崖で空が抜ける周辺環境であったため、その魅力的な景観をしっかり生かし眺望も借景となるよう意図した。

建て主様から数々のイメージをいただき、それらを纏りよく収められるよう、設計・仕様変更が出るたびパースを作成。建て主様の納得いくものを吟味し計画に盛り込むことができた。

外観は当初日本風のデザインを意識していたが、室内はフランス風を基調としていたため、石材を用いたヨーロッパテイストに変更。
標準の石では重厚感と高級感が出ないため、中国の廈門（アモイ）から船で輸送した大判で厚みのある石材を採用。また石を積んでいるような仕上げとするため、念入りな施工計画をおこなった。

日本っぽさを残すため、中庭は飛び石や紅葉を配置し日本庭園をイメージした。周囲をガラスで囲むことで､内部から常に眺めることができる。

建て主様のご要望もあり、天井を高くし建物内部の空間を広く取っているため、空調などの設備はホテル仕様のものを採用。セントラル厨房や鉄板焼きダイニングなど、本格的な設備を取りそろえた。

日本への入国制限が緩和された今、ご家族で日本の空気を楽しんでもらいたい。

（アルテリア／羽田康人氏・石原山口計画研究所／菅谷肇氏　談）

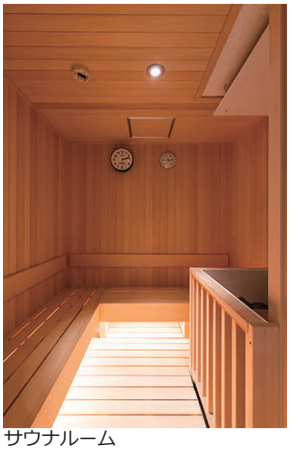
主寝室

広々空間のＷＩＣ

防音性能を高めたシアタールーム

１階テラス

日本庭園をイメージした中庭。建物内部から鑑賞可能


サウナルーム

開放感あるフィットネスルーム

地下１階室内プール

構造：RC 造一部Ｓ造
規模：地下１階・地上２階
用途：専用住宅
総合プロデュース・内装設計：アルテリア
建築設計：石原山口計画研究所
庭園設計：AB デザイン正木覚
竣工：2022 年３月
施工担当：村田・綿貫・青山・前田
撮影：624PHOTO ／村田雄彦

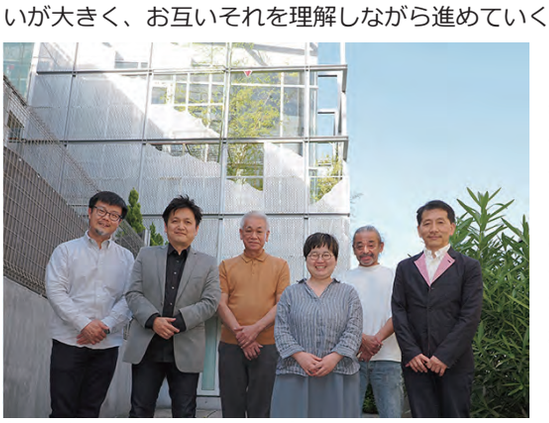
一流 × 一流 = 最強コラボレーション　羽田康人／アルテリア・菅谷肇／石原山口計画研究所

Hajime Sugaya × Yasuhito Haneda

今月は、「CASA 世田谷」の総合プロデュース及び内装設計を担当されたアルテリアの羽田康人氏と建築設計を担当された石原山口計画研究所の菅谷肇氏にご登壇いただきます。
1975 年国内での百貨店プロデュースを期に、デザイン・企画設計会社としてスタートしたアルテリア社は、その後シンガポールでのプロジェクトを皮切りに海外へ活躍の場を広げ、意匠設計をメインに多くの商業施設やビルなどの企画・設計をおこなっています。一方 2010 年に中国天津市東麗湖開発の温浴施設プロジェクトをきっかけに、同じく海外へ活躍の場を広げた石原山口計画研究所。同じフィールドで活躍されながら交わることのなかった両社ですが、今回どのようにしてコラボレーションが生まれたのか、お話を伺いました。

ー以前から海外でご活躍されている両社ですが、今回が初コラボレーションだったそうですね。きっかけがあったのでしょうか。
菅谷：ご担当者であるアルテリアの守屋さんがスタッフの友人で、建て主様が日本で建物を建てるので設計事務所を探しているとご相談いただいたのがきっかけです。
羽田：我々は商業施設の設計がメインなので意匠設計は得意なのですが、今回のような構造部や建築法規に則った設計は不得意なんです。なので住宅などの設計経験豊富な設計事務所さんにご協力いただく必要がありました。「住宅」は初めてでしたので、菅谷さんにいろいろ教えていただきながらなんとかやり遂げられました。
菅谷：我々は建築設計事務所なので、真面目に住宅を設計するのは得意なのですが、インテリアデザインの分野は少し乏しいんです。ホテルや商業施設のようなデザインでかつ、外国人オーナーが好むデザインを見つけていくのは結構難しい。羽田さんたちがいなければ我々の仕事は大変でしたね。

ーお互いのプロフェッショナル方向が噛み合った素晴らしいコラボレーションだと感じました。今回のプロジェクトで苦労されたことはありましたか。
羽田：建て主様は中国の方で、日中間での開発の仕方や商習慣の違いが大きく、お互いそれを理解しながら進めていくのに多大な労力と時間を費やしました。
菅谷：日本では設計図をもとに説明・承認を取りますが、中国の方への提案は全てパースなんです。なので仕様変更などが出るたびパースを作成しなくてはならないので、インテリアの設計は非常に大変なんですよ。
羽田：変更のたびにバリエーションも変えなくてはならないので。今回のプロジェクトでは 100 枚くらい描きましたね（笑）
菅谷：アルテリアさんは海外事務所も構えており、中国人とのビジネス経験は十分ですし、我々も 10 年以上中国での仕事をしてきたものですから、ある程度の流れや説明などいろいろ予測できたのは良かったなと思います。



【CASA 世田谷プロジェクトチーム】　アルテリア社前にて
正面左から王氏・羽田氏・守屋氏・渥美氏・松尾氏・菅谷氏

制作されたリビングのパース

ー施工会社に弊社を選んでいただいた際、建て主様を説得して下さったそうですね。
羽田：「この状況下で受けてくれる施工会社さんはいないですよ！」とご説明したうえで、建築雑誌に載っている辰さんの記事を全部送りました。実際この規模の住宅実績が多いですから、こんな施工会社さん他にいないですよとお話をしてご納得いただきました。
菅谷：目に見える実績があるのはとても素晴らしいです。国が違ってもそれだけで説得力が生まれますから。

ーありがとうございます。今後コラボレーションのご予定はありますか。
羽田：もちろんです。お仕事の話が来たらまず菅谷さんへご相談させていただいています。今後も住宅をやっていきたいです。
菅谷：我々も羽田さんたちがいないとできない分野ですからね。今後も是非お願いします。

ー本日はありがとうございました。

株式会社 アルテリア
東京本社　〒151-0053
東京都渋谷区代々木 4-34-3
TEL 03-3320-3001(代表)　FAX 03-3320-8506　他
代表取締役　羽田　康人
設立　1975 年 5 月
WEB　https://www.arterior.jp/

株式会社 石原山口計画研究所
本社　〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-10-6 山田青山ビル 5F
TEL：03-3409-0834　FAX：03-5466-7410
代表取締役　菅谷　肇
設立　1987 年
WEB　https://archi-ship.com/

TOPICS/INFORMATION

第２回　「ZEN・関東建設協力会」総会　がおこなわれました　ー アルカディア市ヶ谷私学会館 ー

４月 25 日（火）、ZEN グループ各社のうち、関東に拠点をおいている株式会社麦島建設東京支店、池田建設株式会社、株式会社辰の３社と、その各社の協力業者で結成された「ZEN・関東建設協力会」の第２回総会をアルカディア市ヶ谷私学会館で執り行いました。

多くの業者が参加

「ZEN・関東建設協力会」は、建設業界で切磋琢磨するグループ３社が、この厳しい時代を切り抜けるために、会社の垣根を超えて、「より良いもの」を「より早く」「お値打ちに」お客様に提供することを目的としています。
弊社総務部長 佐々木の開会の辞に始まり、協力会２代目会長に就任した株式会社小関工務店代表取締役小関邦昭氏による会長挨拶、ZEN ホールディングス創設者麦島善光前会長、そして相談役である ZEN ホールディングス 福原氏の挨拶がおこなわれ、各理事の紹介や、次年度活動計画、分科会メンバーの紹介、現場報告を経て、閉会の辞となりました。

新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻による世界経済の悪化による物価上昇の影響を大きく受けた建設業界。いまだ回復の兆しが見えない厳しいなかですが、お客様に喜んでいただける建築をつくり続けるため、私たちは一丸となって進んでまいります。

現場報告。「T 邸プロジェクト」

「夢にときめけ！明日にきらめけ！」　SBC　“辰 Baseball Club”　活動レポート
ー 令和５年度渋谷区軟式野球連盟春季大会 ー

４月２日（日）、「SBC」が初の公式試合「令和５年度渋谷区軟式野球連盟春季大会」に出場しました。

初の公式戦でやる気がみなぎります

１回戦の対戦相手は「東急フライヤーズ」さん。「SBC」初の公式戦ということで真新しい公式ユニフォーム（SHIN CLUB269 号参照）に身を包み、緊張の面持ちのなかプレイボールを迎えました。

代表の岩本をはじめ、社員や家族の応援を受けて始まった試合は、先攻の「SBC」が初回に３点を先制しましたが、その裏すぐに同点に追いつかれるなど、一進一退の好ゲームとなりました。
しかし、回を重ねるごとに実力差から点差は開き、残念ながら４対７で敗戦となってしまいました。

終始にこやかな雰囲気のベンチ

試合後、敗れはしたもののすぐに次回大会に向けてミーティングをする選手たちの前向きな姿に、今後の活躍に期待が高まります！

「SBC」とは、辰の社員・協力業者・設計事務所・お客様などが気軽に参加できるクラブ活動で、毎月最終水曜日 19 時から活動しています。
野球未経験の方や女性・お子さまの参加も大歓迎です。また練習試合の申込も随時受付けていますのでお問合せ下さい。

相手バッターを押え込む

※対戦相手の「東急フライヤーズ」さんは、その後もトーナメントを勝ち上がり６月４日（日）に準決勝を戦う予定です。ぜひ頑張っていただきたいと思います！

得点を重ねていく

初の公式試合、お疲れさまでした

【SBC へのご参加・試合他お問合せ】
㈱辰　担当：佐々木・笹原
TEL：03-3486-1570
メール：shinfo@esna.co.jp
皆さまのご参加お待ちしております。

「（仮称）Arrows aoyama Ⅱ計画」新築工事　地鎮祭
2023 年５月 11 日

2019 年に竣工した「Arrows aoyama」の増築計画です。青山にまた新しい建物が出来上がります。

構造 / 規模：RC 造 / 地上２階
用途：店舗
設計：團紀彦建築設計事務所
施工担当：尾内・上田
完成予定：2023 年 12 月

「上北沢 S-Atelier」新築工事　上棟式　2023 年５月 24 日

辰建設時代に安藤忠雄氏設計で施工した建物を、同事務所 OB が管理建築士として所属しているエトルデザインの設計で㈱スーパーポテト本社を建てます。

構造／規模：RC 造／地上３階
用途：事務所
設計：エトルデザイン
施工担当：中村・朴
完成予定：2023 年７月

編集後記

・先日、SHIN CLUB274号でご紹介いたしました「知半アートプロジェクト」のイベント「粋な五月」に参加し、生まれて初めて生の落語と三味線の演奏を鑑賞しました。楽しい小噺、映像を彷彿とさせる語りと演技、それらを更に演出する三味線に魅了され、あっという間の２時間でした。

(株) 辰 通信　Vol.279　発行日 2023年６月 10 日
編集人：本間夏来/村上由衣/土屋祐一郎　発行人：岩本健寿
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル５F　TEL:03-3486-1570
FAX:03-3486-1450　E-mail：daihyo@esna.co.jp URL:http://www/esna.co.jp

ZEN HOLDINGS　建築屋 SHIN

「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧いただけます。
バックナンバーも PDF で掲載しています。
スマホはこちらから →